

# 抑うつ気分

監修／島根県斐川中央クリニック 院長 下手 公一

## 症状と所見

## 処方

### 比較的体力がある（実証）

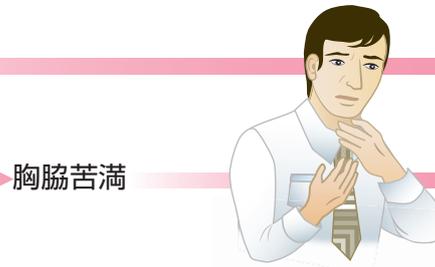
驚きやすい、強い胸脇苦満  
臍上悸



柴胡加竜骨牡蛎湯

### 体力は中程度（中間証）

強い不安感  
咽喉頭異常感



半夏厚朴湯

胸脇苦満

柴朴湯

多愁訴、イライラ、怒りっぽい

加味逍遙散

強い抑うつ

抑肝散

### 体力がない（虚証）

易疲労感、不眠  
貧血、イライラ

加味帰脾湯

神経過敏、眼精疲労  
夢精、臍上悸

桂枝加竜骨牡蛎湯

寝汗、口渴  
軽い胸脇苦満、臍上悸



柴胡桂枝乾姜湯

強い抑うつ

抑肝散加陳皮半夏



## 1 point ワンポイント・アドバイス

西洋薬による抑うつ気分の治療では、中枢神経系に働きかける三環系抗うつ薬やSSRI等による治療が中心となりますが、漢方治療では、「心身一如」という考えの下、様々な身体症状にも大いに注目します。急性のうつ症状には西洋薬、慢性的なうつ状態には漢方薬、という使い分けは一つの目安ですが、併用が望ましい症例も少なくありません。なお、漢方において「鬱」は基本概念でもあり、生命力としての「気」が、木々がこもるようにふさがっている病態を指します。